

平成 29 年度第 3 回 監査結果報告書

1. 日 時：平成 30 年 2 月 13 日（木）午後 3 時～5 時 20 分
2. 場 所：院長応接室
3. 監査委員：橋本廸生（委員長）、棚瀬慎治（委員）、落合和徳（委員）
4. 対象期間：平成 29 年 4 月～9 月分
5. 実施方法：資料提出に基づく医療安全体制および実業務をヒアリング
6. ヒアリング対象者：

丸毛 啓史/病院長

三森教雄/医療安全管理部副部長・医療機器安全管理責任者

岳 可奈子/医療安全推進室副室長・医療安全管理者

北條文美/医療安全管理者

廣瀬俊昭/医薬品安全管理責任者

平塚明倫/医療機器安全管理実務責任者

7. 監査内容

1) 医療安全部門について

- (1) 出席者個々の役割、活動内容、課題について確認
- (2) 発生事例の概略と改善報告について

2) 医療安全全般について

- (1) 大学病院における診療科ごとの医療安全への対応について
- (2) 大学病院における今後の課題
- (3) 方針に対する大学と病院の齟齬について
- (4) 病院運営に向けた看護部からの意見について
- (5) 医師の働き方改革への取組み

8. 監査結果

- 1) 再手術症例検討WGの取組は、今後も継続願いたい。
また、本 WG が医療安全管理部門の会議、WG の一覧に含まれていないため、医療安全部門内での位置付けを確認するためにも明記願いたい。
- 2) インシデントに対する改善策は当該部門内で共有・検討し、発生部門が対策を立案することが望ましいので、現在の活動状況を継続願いたい。
- 3) 医療安全情報については、注意喚起以上の取組みをしている医療機関もあり、実施した場合は、レベルダウンになることも有り得るため、院内で周知する場合は情報内容との適合性を考慮願いたい。
- 4) システムの変更等でアクシデント・インシデント報告を一時的に入力制限する際には、本来報告されるべき 3b 以上の事例が報告されないということがないように配慮願いたい。
- 5) 転倒・転落により患者が受傷する事例が年間に数件発生しているが、係争に発展する可能性が高いことを十分留意のうえ、対策を検討願いたい。

- 6) インシデント・アクシデントのレベル 0 報告については、どのような理由で防げたのかを全体で共有して欲しい。
- 7) 研究目的で購入した医療機器、および診療目的で購入した医療機器については今後も明確に管理願いたい。
- 8) 医師の働き方改革について推進願いたい。

以上